



「名もなき家事」に名前をつける

- 家庭科の学習が始まったばかりの5年生が、毎日の生活を見つめて、家族の生活を支えている仕事について話し合っていました。子どもたちは、家の中に実に様々な仕事があることに気づきました。家庭科は、直接自分の生活へとつながる教科です。「そうあんくんの日」も活用して実践に取り組んでほしいと思います。
- 今年度もご家庭での協力をいただき「そうあんくんの日」の活動が始まっています。昨年度の保護者アンケートでは「そうあんくんの日にはお手伝いをがんばっても、それがなかなか日常化しない。」という課題を提起していただきました。
- 数年前から「名もなき家事」という言葉が聞かれるようになりました。「名もなき家事」とは「掃除」「洗濯」「料理」といった大きな家事に比べると、見えにくいけれども毎日の家庭生活の中で絶対に必要な家事のことです。
- 「飲みっぱなしのコップを片づける」「残った食品を冷蔵庫にしまう」「脱ぎっぱなしの服を片づける」「郵便物を取りに行く」「洗面所のタオルを取り替える」「トイレトペーパーの芯を取り替える」「自分の食器を流しに持って行く」などなど。中には10秒もかからないものもあります。けれどもこういう細々としたことの蓄積が、家事をする人にとっては大変なストレスになっているということ。私自身も妻に指摘されることが多く、実に身につまされる話題です。
- こういうことに気づかないまま、知らぬ間にリセットされていると思い込んでいる子が多いような気がします。息子が進学して一人暮らしを始めて間もなく、その様子を見に行った時の、部屋の散らかり様を思い出します。まさにこの「名もなき家事」への意識が、当時の息子にはまだ身についていなかったのです。
- 「そうあんくんカード」に子どもたちが書いてくるのは、「料理」とか「お風呂掃除」とか、立派な「家事」と言えるものが多いです。けれども家事とはそういうものだけでなく、日常のほんの小さな「名もなき家事」が、家庭生活をスムーズに送るために機能していることに気づかせたいものです。毎日、目立たずに行われている「名もなき家事」に名前をつけてみることで、子どもたちが毎日でも担える仕事が見つかるのではないのでしょうか。



5月の全校朝会講話 ～「だんだん」を楽しむ力～

- 校庭で、一輪車の練習をしている子を見かけます。手すりにつかまって、こけそうになりながらも、何回もチャレンジしていますね。最初は、なかなかうまくいきません。でも、ちょっとずつ、バランスがとれて、前に進んで、ちょっとずつ、乗れるようになっていきます。
- すぐに「できる」ようになるわけではありません。「できない」から「できる」の間に、「だんだんできるようになる」時間が必ずあるのです。この「だんだん」が、とても大事です。勉強でも、同じです。最初は難しくても、少しずつわかってきます。「なんだか、ちょっとできたかも」「前よりうまくなったかも」。それが「だんだん」です。



- 「だんだん」があると、心がうれしくなります。「だんだん」は楽しい時間なのです。それに「だんだん」があると、自分のがんばりが見えてきます。
- みなさんの毎日には「だんだん」がいっぱいあります。学校は、「だんだん」をたくさん作る場所です。「だんだん」の先に、きっと大きな「よろこび」が待っていますよ。みんなで「だんだん」を見つけあって、「だんだん」を楽しんじゃいましょう。

希少植物”フジバカマ”を守る活動【3年生】 4月28日

”フジバカマ”という植物をご存知ですか。川原などのしめった場所に生える植物で秋にはピンク色のきれいな花を咲かせます。しかし、工事等により川原が少なくなってきたことや、外来種の増加によって、最近では数が少なくなっているそうです。3年生の環境体験事業ではこのフジバカマを守る活動を行います。28日には、広島から復建調査設計株式会社から3名の講師様にお越しいただき、フジバカマの希少性について教えていただいたり、フジバカマの苗を定植したりしました。子どもたちが直接、環境を保護する活動に参加できるのは本当に素晴らしいことです。秋にはフジバカマの蜜を求めて、「鬼滅の刃」に登場するアサギマダラという蝶もやって来るとか。子どもたちは、そんなことも楽しみにしながら、環境保護活動に取り組んでくれることでしょう。



プール横の水路のそばに定植しました
近くを通られる時はご覧ください

交通安全教室の実施 4月30日

南但馬警察署の方に来ていただき、交通安全教室を実施しました。3年生～6年生は体育館で交通安全についての講話を聞き、ビデオを見ました。1・2年生は講話を聞いたり、ビデオを見たりした後、校外に歩行訓練に出かけました。



交通旗の使い方も教わりました



軽部橋交差点を横断する訓練

警察署の方のお話によれば、死

亡を伴う大きな事故になる割合が高いのが但馬の交通事故の特徴だそうです。但馬地方は都市部に比べて車のスピードが速くなりがちであることや、人口が少ないので、ドライバーが「こんなところから人は出てこないだろう」と思い込みがちなのが原因ではないかと分析しておられました。我々ドライバーは肝に銘じておく必要があります。

子どもたちが、交通ルールを身につけ、毎日安全に生活できるように、ご家庭でも指導をお願いします。

■ 養父校区合同資源回収・PTA 学校環境整備作業 5月11日

養父校区合同資源回収では、地域・保護者の皆様にご協力賜り、たくさんの資源を回収することができました。収益金につきましてはPTA活動資金として子どもたちの健やかな成長のために有効に活用させていただきます。また、引き続き行われた学校環境整備作業でも、多数の保護者の皆様にご参加いただきました。美しく整えられた校舎まわり、磨き上げられた教室の窓。清々しい気持ちで、子どもたちは学習に臨むことができます。休日にも関わらず、多くの方のご参加と温かいご協力に心より感謝申し上げます。



窓をきれいにしていただきました

今年度も校長室より「**広谷っ子ブログ**」を発信中です

【**広谷っ子ブログ**】<https://hirotanikocho.blog.fc2.com/>

